施策評価シート(令和3年度実施施策)

総合計画体系	政策№	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	施策主管課	建設水道課
	施策№	1-3	施策名	交通体系の充実	施策主管課長名	鈴木　明利
関係課	政策財政課 建設水道課					

1．施策の目的

対象	A 町域 B 町民	意図	A 地域を結ぶ安全で快適な交通環境が整備・維持されている B 交通弱者にもやさしい交通機関を利用して盛んに移動している

2．成果指標　　上段：目標値　下段：実績値

	指標名	単位	現状値		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内の道路での移動に不便を感じている町民の割合（減少）（現状値：H28-30平均）	%	34.5	目標値	31.7	31.3	31	30.7	30.5
				実績値	36.5				
②	B 公共交通での移動に日常的に不便を感じる町民の割合（減少）（現状値：H28-30平均）	%	13.1	目標値	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
				実績値	10.5				
③				目標値					
				実績値					
④				目標値					
				実績値					

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	良好な道路状況を維持するため舗装補修及び道路施設の修繕を実施しているが、舗装については補修痕により舗装面に凹凸が生じたことによる走行性の悪化や、令和３年度は近年にない大雪となり、道路除雪が通勤通学時までに完了しなかったことなどが増加の要因と考えられる。
②	20歳代及び65歳以上の方で不便を感じている割合が高い。特に町外への移動や路線バスの運行経路地域以外の方が不便を感じていると考えられる。
③	
④	

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・道路を常に良好な状態に保つため、舗装補修及び道路施設の修繕を行うと共に狭隘な道路の整備を実施した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、除雪機械オペレーターにおいては、班毎での分散勤務体制を執った。あわせて、地域特性から生じる除雪機械オペレーター間の不公平感是正のため、早出勤務（早朝除雪時）における勤務時間の設定を見直した。
・路線バス利用促進として、未就学児（年長児）を対象に、路線バス試乗会を町内4つのこども園で実施した。
・路線バス試乗会とあわせて未就学児（年長児）を対象として、バスに関する図画を募集しギャラリーバスを実施した。
・デマンド交通システムについて、現行システムの状況を確認し、事業実施主体とともに次期システムの仕様について検討し決定した。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

道路やそれに付随する施設の改良及び修繕計画に基づき工事を実施するとともに、冬期間においては効率的な除雪に努め、良好な道路環境を確保する。
会津美里町地域公共交通網形成計画及び会津美里町地域公共交通再編実施計画に基づき鉄道、路線バス及びデマンド交通を一体的に捉え、会津圏域公共交通活性化協議会と連携しながら利便性の向上を図るとともに、公共交通の利用促進に努め持続可能な公共交通体系を維持する。また、近年のデジタル化の加速に対応するとともに、運行形態や運行時間等についても検討しデマンド交通配車システムの更新を行い、更に利用しやすいデマンド交通を目指し利用者を増加させる。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和3年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4371	道路等負担金事業	826	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
2	4568	道路新設改良等事業	148,368	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
3	4712	公共交通利用促進事業	53,168	拡充	拡大	①有効性改善	○
4	14010	防雪柵整備事業	21,625	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	16755	除雪対策事業	225,502	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
6	16756	道路維持管理事業	143,419	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
7	16757	橋梁長寿命化補修事業	36,005	現状維持	現状維持	⑤現状維持	